

# 第13回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2017 参加申込書

本申込書をコピーまたは切とって必要事項を記入し、郵送にてお送りください。

申込期間 2017年4月1日(土)～2017年5月22日(月)必着 (Web申込みは5月31日まで <https://contest-kyotsu.com>)  
募集要項の内容を承諾の上、参加を申し込みます。 記入年月日：2017年 月 日

①	第1チャレンジ希望会場	※募集要項「会場一覧」を参照の上、必ず記入してください。	
	No.:	会場名:	

フリガナ	氏名		姓	名	印				
	性別	男・女	生年月日	平成	年	月	日	年齢 (2017年4月1日現在)	歳
②	学年 (2017年4月から)	第	学年	卒業年月		※既に学校を卒業している方のみご記入ください。			
	自宅住所	(〒 - )	都道府県	年					月
自宅電話番号	-	-	FAX番号	-	-				

③	在籍している学校	1. 高等学校 2. 中等教育学校 3. 高等専門学校 4. 中学校 5. その他	学校名 ※正式名称	※略さずに記入してください。卒業生は、卒業学校名を記入してください。				
	学校住所	(〒 - )	都道府県	学校種別	1. 国立	2. 公立	3. 私立	4. その他

以下、今後に向けた参考のため、アンケートにご記入をお願いします。

①	募集をどうやって知りましたか？該当番号に○をつけてください。※複数回答可
	1. ポスター 2. 募集要項 3. 先生から 4. 先輩から 5. 友人・知人から 6. ホームページから 7. 新聞(紙名: ) 8. 雑誌(誌名: ) 9. その他( )
②	理科・数学に関する部活動・クラブ活動に入っていますか。または、入っていたことがありますか？
	1. 現在入っている(部活動名: ) 2. 入っていたことがある(部活動名: )(時期: 頃) 3. ない
③	物理チャレンジ2017に応募した動機

《個人申込の場合》項目①、②、③、④に記入してください。  
以下は、該当する場合、学校の先生が記入してください。該当する項目にチェックを入れ、⑤に記入してください。

【学校一括申込】 あり なし 学校の先生が複数名分をまとめて申込み場合があります。

参加希望生徒には、①、②、④に記入してもらってください。別に③、⑤を記入したものを1枚作成し、人数分の参加申込書の一冊上に重ねて提出してください。

【特例会場】申請 あり なし 参加希望生徒が10名以上の場合、自校を会場とすることができます。

参加希望生徒には、②、④に記入してもらってください。別に③、⑤を記入したものを1枚作成し、人数分の参加申込書の一冊上に重ねて提出してください。

⑤	申請責任者氏名	※申請責任者は教員でなければなりません。		印
	学校連絡先電話番号	申込書の生徒数	計	人分
学校連絡先FAX番号				

(レポート表紙)

## 第13回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2017 第1チャレンジ 実験課題レポート

レポート表紙

第1チャレンジ番号	1	7					
-----------	---	---	--	--	--	--	--

(※1) 第1チャレンジ番号を必ず記入してください。  
第1チャレンジ番号は、6月中旬頃参加申込者の自宅宛に郵送します。

氏名:

学校名または卒業校名: 学年:

学校のある都道府県名: 実験をした場所:

共同実験者 (最大4名まで。共同実験者の定義については「実験の進め方」を参照して下さい。)

氏名:

第1チャレンジ番号

1	7					
1	7					
1	7					

実験課題に取り組んだ感想を書いてください。

参加申込み、および実験レポート送付の際には、下のラベルを切り取り封筒に貼って宛名として利用することもできます。

参加申込書送付用ラベル

実験課題レポート提出用ラベル

〒192-0081  
東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル 8F  
**(株)教育ソフトウェア内**  
**科学オリンピック共通事務局 物理チャレンジ係 行**  
(参加申込書在中)

〒162-8601  
東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学内  
**NPO物理オリンピック日本委員会 行**  
(実験レポート在中)

### 1 物理チャレンジとは

「物理チャレンジ」は、高校生・中学生を中心に20歳未満で大学などの高等教育機関に入学する前の皆さんを対象とした全国規模の物理コンテストです。世界物理年(2005年)を記念して第1回全国物理コンテスト「物理チャレンジ2005」が開催され、以後毎年開催されています。「高校物理」を履修していても挑戦することができます。物理の楽しさ面白さに触れられるのが「物理チャレンジ」の魅力です。これまでも高校1年生あるいは中学生の皆さんも第2チャレンジに選抜されています。高校の物理をまだ履修してなくても、物理に関心がある人は、奮ってチャレンジしてみてください。

なお物理チャレンジは、国際物理オリンピックに派遣する日本代表の選考も兼ねています。

「物理チャレンジ」には、いくつかのステップがあります。はじめの第1チャレンジは、「理論問題コンテスト」と「実験課題レポート」です。「実験課題レポート」は、実験課題に、自宅や学校で取り組み、その結果をまとめてレポートとして提出します。実験の課題は、◆を参照してください。(ホームページにも掲載されています。)

「実験課題レポート」と「理論問題コンテスト」の結果を合わせて、第2チャレンジへ進む100名の選抜を行います。どちらか片方だけの場合は、第2チャレンジへの選抜の対象にはなりません。

第2チャレンジは、第1チャレンジによって選抜された100名が夏休みに一堂に集まる3泊4日の合宿です。ここでは「理論問題」と「実験問題」それぞれ5時間で行なわれるコンテストにチャレンジします。そのほか、第2チャレンジの期間中には、第一線の科学者との対話、先端研究施設の見学、そして参加者同士の交流ならびに物理及び関連する科学技術の諸分野の研究者との語らいを深める機会など、コンテスト以外の多彩なプログラムも織り込まれていて、物理好き、探求好きの皆さんには充実した4日間になること間違いなしです。

「物理チャレンジ」は、国際物理オリンピック(※1)に派遣する日本代表選考を兼ねています。第2チャレンジで特に優秀な実力を示し、かつ翌年の国際物理オリンピックの参加資格(※2)を満たす若干名を日本代表候補者として選出する予定です。通信教育や合宿などの教育研修によって日本代表候補者のスキルアップを図り、最終選考によって日本代表5名を選出し、翌年夏に開催される国際物理オリンピックに派遣する予定です。第2チャレンジの合宿形式のプログラムは、この「国際物理オリンピック」のスタイルをヒントにしています。

※1) 「国際物理オリンピック」(International Physics Olympiad: IPhO)は、1967年にポーランドのワルシャワで第1回大会が開催された国際的な物理のコンテスト。世界の80あまりの国・地域から高等教育就学前の若者が参加し、物理学に対する興味関心と能力を高め合うとともに、参加国における物理教育が国際的な交流を通じて一層発展することを目的として毎年開催されている。わが国は、第1回全国物理コンテスト「物理チャレンジ2005」によって選出された5名を擁して、2006年シंगाポールで開催された第37回国際物理オリンピック(IPHO2006)に初参加し、以後毎年参加して好成績を挙げている。国際物理オリンピックの詳細は、ホームページ <http://iphophy.ntnu.edu.tw/index.html> (英語)参照。

※2) 開催年の6月30日現在満20歳未満で、かつ高等教育機関(大学・短期大学または高等専門学校第4・5学年)に在学していないこと。(「7国際物理オリンピック日本代表候補者の選考」参照。)

### 2 物理チャレンジではどんな問題がでるのか

第1チャレンジの理論問題(マークシート方式)は、高等学校の物理で扱う基本的な事項の理解を前提にしています。もちろん物理を学び始めたばかりの人にも配慮をした問題にしています。中には少し難しい問題もありますが、問題文をよく読んで、よく考えて解答してください。また、第1チャレンジの理論問題コンテストでは、参考となる資料(電子機器を除く)を会場に持ち込むことができます。

第2チャレンジの出題の範囲は、高校物理を基本としますが、その範囲を超える問題には解説やヒントをつけます。

物理チャレンジの過去問題及び参考となる図書については、物理チャレンジのホームページを参照してください。なお、第2チャレンジのコンテストでは参考となる資料を持ち込むことはできません。

### 3 物理チャレンジに参加するには

- 参加資格 ..... 「物理チャレンジ2017」に参加するには、次の条件①と②の両方を満たしていなければなりません。
  - ①2017年4月1日現在、満20歳未満であること。
  - ②第2チャレンジ開催時(2017年8月19日)に高等教育機関(大学・短期大学または高等専門学校第4・5学年)に在学していないこと。

※年齢の下限は設けていません。中学生以下の参加も大歓迎です。ただし、第2チャレンジは、ややハードなスケジュールのため、小学生以下の方はあらかじめご相談ください。  
※国籍は問いません。ただし、物理チャレンジの出題及び解答は日本語に限定します。  
※第2チャレンジは3泊4日の全日程参加が原則です。また、保護者、学校の先生などの付き添いは認められません。  
※第1チャレンジ理論問題コンテストを受けるには、「第1チャレンジ受付票」のほか、本人確認のできる生徒証、運転免許証などの証明証が必要です。

- 参加費 ..... 「物理チャレンジ」の参加費は無料です。ただし、第1チャレンジでは、参加申込及び実験課題レポートの提出にかかる費用、ならびに理論問題コンテスト会場までの往復交通費は参加者の負担となります。第2チャレンジでは、自宅から集合場所までと解散場所から自宅までの交通費は自己負担となりますが、集合から解散までの第2チャレンジ期間中の経費は主催者が負担します。なお、物理チャレンジ2018からは有料となります。

- 参加申込方法 ..... この募集要項またはホームページにある「物理チャレンジ2017参加申込書」に必要事項を記入して郵送する方法と申込専用のホームページから申し込み2つの方法があります。郵送の場合、参加申込書1枚に1人分を記入してください。用紙が足りないときは必要な部数をコピーするか、ホームページからダウンロードしてください。ホームページから申し込みの場合には、指示にしたがって必要事項を直接入力してください。

参加申込をされた方には、6月中旬に「第1チャレンジ受付票」を自宅宛てに送ります。受付票は再発行できませんので、紛失しないようにしてください。実験課題レポート提出締切前日(6月15日)までに受付票が届かない場合は、科学オリンピック共通事務局まで問い合わせてください。なお参加申込の詳細は、◆および◆をご覧ください。

物理チャレンジは、日本数学オリンピック、化学グランプリ、日本生物学オリンピック、日本情報オリンピック、日本地学オリンピック、科学地理オリンピック日本選手権と共に、日本における「国際科学オリンピック」の一環として開催されています。国際科学オリンピック全体の普及を目的として、各オリンピックの主催機関において本大会への学校別参加状況等(参加者個人を特定する情報を除く)を活用する場合がありますので、予めご承知おきください。

### 4 第1チャレンジについて

参加申込み受付期間	郵送：4月1日(土)～5月22日(月)必着 WEB：4月1日(土)～5月31日(水)
第1チャレンジ受付票の送付	6月中旬(本人自宅宛に送付します)
実験課題レポート提出締切り	6月16日(金)当日消印有効
理論問題コンテスト全国一斉	7月9日(日)13時30分～(90分間)

- 第1チャレンジ理論問題コンテスト会場の選択 ..... 第1チャレンジ理論問題コンテストは、別表「第1チャレンジ理論問題コンテスト会場」にて開催します。原則として居住都道府県内の会場を選んでください。ただし、近くに会場が無い場合は、隣接する地域の会場を選ぶことができます。「参加申込書」の該当欄に希望の会場Noと会場名を記入してください。

なお、1校から10名以上参加する場合はその学校を会場とすることができる「特例会場」の制度があります。「特例会場」については、◆を参照して下さい。

- チャレンジ結果のお知らせ ..... 第1チャレンジに挑戦した皆さんには、8月上旬に結果をお知らせします。理論問題標準解答と実験課題レポート講評等はホームページで公開しますので後々の勉強の参考にして下さい。なお、第2チャレンジに選抜された100名の方には、7月下旬に通知します。

### 5 第2チャレンジについて

会期	2017年8月19日(土)～22日(火)3泊4日
会場	岡山県青少年教育センター(岡山県備前市)
集合	岡山駅 8月19日(土)11時(予定)
解散	岡山駅 8月22日(火)13時(予定)

- プログラム ..... 第1日 8月19日(土) オリエンテーション  
実験問題コンテスト(5時間)  
第2日 8月20日(日) 理論問題コンテスト(5時間)  
フィジクス・ライブ(フィジクスライブは、物理研究者等によるデモ実験や講話など物理を通じた交流イベントです)  
第3日 8月21日(月) サイエンスツアー  
問題解説会  
第4日 8月22日(火) 表彰式 講評 閉会式
- 見学施設 ..... 大型放射光施設 SPring-8

### 6 選抜と表彰

第1チャレンジの総合結果により選抜された100名が、第2チャレンジの参加対象者となります。また、第1チャレンジ実験課題レポートで特に優れたレポートを提出した人には「第1チャレンジ実験優秀賞」を授与しホームページ等で公開する予定です。第2チャレンジで優秀な成績をおさめた人には、金賞(最上位から6名)、銀賞(金賞に続く12名)、銅賞(銀賞に続く12名)のほか、優良賞(約20名)などを授与します。

### 7 国際物理オリンピック日本代表候補者の選考

「物理チャレンジ2017」成績優秀者の中から、高校2年生以下の上位12名を2018年夏に開催される第49回国際物理オリンピック日本代表の候補者として選出する予定です。ただし、候補者となるには国際物理オリンピックの規定により、2018年6月30日現在、満20歳未満で、かつ高等教育機関(大学・短期大学または高等専門学校第4・5学年)に在学していないことが条件となります。したがって、2017年夏に高等学校3年生の人は、2018年には大学等に進学していると思われるので、国際物理オリンピック日本代表候補者になることはできません。日本代表候補者として選抜された者は、秋・冬・春の3回の合宿と通信添削による研修に参加し、来年3月の春合宿で最終選抜を行い5名の日本代表を決定します。最終選抜の対象となるには、3回の合宿(秋・冬・春)への全日程参加が必須条件となります。秋合宿の日程は以下の通りです。冬(12月下旬)・春(3月下旬)の合宿については9月以降に通知します。

秋合宿	会期 2017年9月16日(土)～18日(月・祝) 2泊3日 会場 軽井沢研修所(長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉(大日向)5607)
-----	---

### 8 参加申込および実験課題レポート提出

- 参加申込先 ..... ◆郵送の場合 5月22日(月)締め切り(必着)  
参加申込書に必要事項を記入し、下記宛に郵送してください。  
※参加申込書は、ホームページからダウンロードすることもできます。

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル8F (株)教育ソフトウェア内 科学オリンピック共通事務局
◆ホームページの場合 5月31日(水)24:00締め切り 下記ホームページから必要事項を入力して申し込みください。 <a href="https://contest-kyotsu.com">https://contest-kyotsu.com</a>

- ◆特例会場について  
自校の参加希望生徒が10名以上の場合、先生から申し込んでいただく自校を第1チャレンジ会場とすることができます。
- ◆学校一括申込みについて  
特例会場として申込みない場合にも、先生が複数名分を一括して申込み方法があります。ホームページから申込みの場合は、申込み画面の「学校申込み」から手続きをしてください。

- 実験課題レポート提出先 ..... 郵送提出のみ 6月16日(金)締め切り(当日消印有効)

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学内 特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会
--

※参加申込先とは異なりますので、ご注意ください。  
※封筒のおもてに、「実験レポート在中」と書いてください。

- 参加申込についてのお問合せ ..... 下記のメールまたは電話にて、お問合せを受け付けています。

科学オリンピック共通事務局 E-MAIL <a href="mailto:info@contest-kyotsu.com">info@contest-kyotsu.com</a> TEL 042-646-6220 受付時間 平日(月曜日～金曜日)12:00～13:00 17:00～19:00
---